PETER DAVID BETER・音声書簡 第22号

1977年3月27日

テーマ1 戦争計画の経緯

1 ベターは、秘密計画は状況証拠を通じて開示できると主張している。



2 1865年のリンカーン陰謀裁判でジョン・ビンガム検事の議論を呼び起こした。



3 ネルソン・ロックフェラーがフォードの解任を通じて大統領を捜していたという疑惑を再審理した。



4 ベターは1975年のフォードの試みを、その計画の一部である ms と解釈した。



5 ノックス砦に戻り、金の検査と監査の対象範囲について論争する。



6 中央保管庫は金の論争にとって極めて重要だと、彼は主張する。



7 1977年3月のインディラ・ガンディー選挙では敗北を、戦争の障害を取り除くと解釈した。



8 彼の結論は、公衆の露出と継続的な市民行動は災害を防ぐ可能性がある。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第22号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第22号

1977年3月27日

テーマ2 カーターとベターの核戦争警告

1 ベターはカーターの和平約束を、後に戦争に突入した以前の大統領と比較する。



2 カーターの外交的対立と人権のレトリックは緊張の高まりと見ている。



3 ベターは、ロックフェラーの利益を保護するためにCIAが海上スーパーミサイルが存在すると主張している。



4 同氏は、引退した情報長官ジョージ・キーガン氏が、ソ連の粒子ビーム研究について警告していることを引用しています。



5 ベターは、全世界の沿岸海域で合計372基のソ連核兵器が発見されたと報告している。



6 大陸130、アラスカ9、ハワイ15、他4の海域に158隻が生息している。



7 彼はまた、西海岸沖で16個の遠隔操作のプルトニウム容器を主張している。



8 ベター氏は、英国が調整を要請し、ミサイルを水から取り除き始めたと述べています。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第22号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第22号

1977年3月27日

テーマ3 教会の使い方

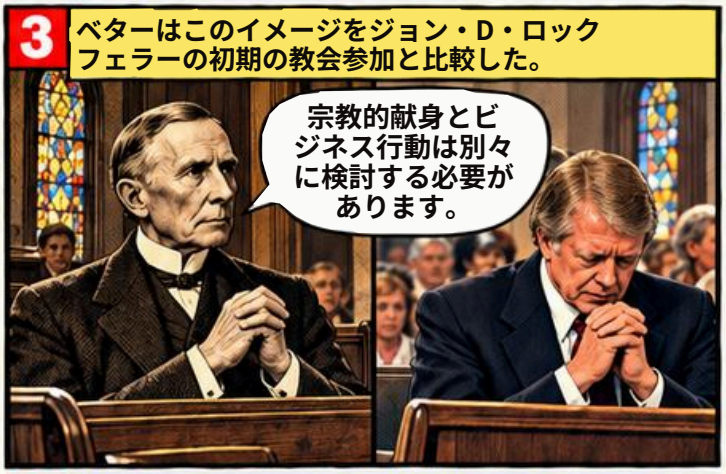
1 ベターはビリー・グラハムのカーターの宗教的ジェスチャーに対する好意的な反応について論じる。



2 カーターの日曜学校のイメージは多くのアメリカ人の信頼を得ている。



3 ベターはこのイメージをジョン・D・ロックフェラーの初期の教会参加と比較した。



4 彼の警告:可視の敬遠は倫理的な政治的決定を保証するものではありません。



5 ボリシェヴィキ革命後の信者の迫害について述べている。



6 彼は毛沢東の中国と平行して、デヴィッド・ロックフェラーの賞賛を批判する。



7 ベターは、三大宗教を不安定にさせる可能性のある、不特定な中東の挑発について警告する。



8 彼は信者にパニックに抵抗し、良心と責任を持って行動するように促します。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第22号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。